

法人（事業所）理念		障害児が日常生活における基本的動作を習得し集団生活に適應する事が出来る様、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。					
支援方針		障害児の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先を考慮し、個別支援計画の作成、個別支援会議の実施、支援の実施を行う。					
営業時間		平日	9時30分から18時30分まで	休校日	9時00分から18時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	自ら健康で安全な生活を作り出せることを支援する。学校やご自宅へお迎えに行った際には、職員の先生や保護者に体調の変化がないか確認を行います。健康状態のチェック。来所してすぐに検温を行います。意思表示が困難な子どものサインに気付ける様にきめ細やかな観察を行う。 食事・排泄等の基本的な生活リズムを身につける支援。区切りや見通しを立て、長時間トイレに行けそうにない場合は事前に事業所で済ませられる様にする。食を営む力の育成と楽しい食事への配慮。学校が休みの日は自身で食べる物を選び購入する。病気の予防や安全への配慮。手洗いの徹底。 身の回りを清潔にし、食事や衣類の着脱等生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援する。脱いだ靴を下駄箱に入れる等、マナーも身につけていく。					
	運動・感覚	姿勢保持・運動・動作の改善及び習得。テーブルで学習や作業をする際、極端な体勢にならないように配慮。長時間同じ体勢になってしまう場合は、適度に軽い運動を挟む。筋力の維持・強化。事業所の近所に4か所程公園があるので活動に合わせて利用。 視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるよう遊びを通して支援。段ボールや手でちぎれるガムテープを使って大型の作業を行う。屋外では学校で使用しているボールと同じ物を用意し、ドッジボールやサッカーを行う。感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援。大きな音が苦手だったり、人との接触を苦手とする子どもに対してはそれぞれに合った配慮を行う。イヤーマフや補聴器等、日常的に使用出来る様にしていく。					
	認知・行動	視覚・聴覚等感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能への発達を促す支援を行う。環境から情報を取得する。公園で遊ぶ時等、草木に直接触って体験する。あまりにも危険なもの以外は触れる事を止めたりしない。 物や空間・時間等の概念の形成を図る。工作やマイクラフト等、空間認知を高めるために取り入れている。何がどれくらい必要でどんな色で表現するかを一緒に考えていく。時間も逆算して活動の中であとどれくらいでどこまでできるかを考えながら取り組む。 個々の特性に配慮し、入って来る情報を適切に処理出来る様に支援。こだわりに対しても理解を示す。対象者が苦手と感じるものは無理に触れたり、使ったりしない。あるものの中から本人が納得出来る様にしていく。					
	言語コミュニケーション	言語の習得。自発的な発声を促す支援。会話でのやり取りが主なコミュニケーションツールになっている為、会話がとても重要になってくる。実践的な環境の中で習得を促していく。現時点ではイラストカード等の活用はしていないが、必要があれば追加で作成していくことも検討中。 それぞれ配慮された場面での人との相互作用を通して、コミュニケーション能力向上の支援。言葉遣いも併せて支援。大人に対しての敬語や子ども同士でも乱暴な言い方にならないように配慮。 ニックネームは双方に信頼関係があれば使用できる。 言葉や文字を使って相手の意図を理解（受容）。自分の考えを伝える（表出）を支援。相手が伝えたい事がある時は最後まで話しを聞くように促す。話しを途中で遮らないようにする。子ども同士で会話が上手く成立していない時は職員が助け舟を出せる様に話しをよく聞いておく。					
	人間関係社会性	遊びを通して人の動きを模倣することで、社会性や対人関係の芽生えを支援。言葉遣いもそのうちの一つ。相手が目の前にいる環境の中でどんな言葉遣いがいいのかを身につけていく。その発展として何を模倣されると嫌なのかも身につけられる様にしていく。 出来る事と出来ない事、自身の行動の特徴を理解し、気持ちや情動の調整出来る様に支援。得意な事はより伸ばせる様に環境を整えていく。出来ない事をがんばってやるよりも、出来る事を伸ばす事で全体の底上げにつながると考えている。 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加出来るように支援。簡単なルールを設け、みんなで楽しめる遊びを取り入れている。自宅でも出来る一人で出来る遊びはできるだけしないようにしている。					
地域支援・地域連携		学校との情報連携や調整・相談支援事業所との連携。他の放デイとの連携による交流会。			職員の質の向上	月に一度の研修を行う。職員の自尊心を育てる。	
主な行事等		月に一度のお出かけ。（例：ひらかたパーク・ユニバーサルスタジオジャパン・海遊館等）季節ごとの催し事。（例：節分・ひな祭り・ハロウィン等）					